



日本の世界の平和の祈りが結集!
悲劇の過去を知り学び考えそして語り続けよう!

一人ひとりの平和への決意を新たに誓う!

～ 2016連合長野平和行動in沖縄・広島・長崎～



沖縄代表団の皆さん

連合長野は、平和活動の一環として、6月23日～25日「平和行動in沖縄」へ、松澤副会長を団長に13名を、8月4日～6日「平和行動in広

島」へ、師玉副会長を団長に、親子代表団23名(子ども7名)を、8月8日～10日「平和行動in長崎」へ、林副会長を団長に8名を派遣した。

沖縄では、連合2016平和オキナワ集会に参加し、崎原 真弓さん(沖縄カリスマススーパーバスガイド)による沖縄の歴史や戦争の悲惨さを訴える講演から、命の尊さを学び、ひめゆりの塔、糸数壕(アブチラガマ)の見学を通じて、現在の平和への感謝の気持ちと未来への平和を考えた。

広島では、連合2016平和ヒロシマ集会や原爆死没者慰霊式・平和記念式典への参加を通じて、今なお続く原爆による被害の苦しみを学ぶとともに、戦艦大和の大和ミュージアムや広島平和資料館見学、平和公園内の慰

霊碑を巡るピースウォークを通じて、核兵器廃絶の重要性を実感した。

長崎では、連合2016平和ナガサキ集会に参加し、核兵器廃絶や戦争のない世界を訴える高校生平和大使からの「微力だけど無力じゃない」という言葉に、一人ひとりが行動することの大切さを実感し、平和への決意を新たにしました。

また、広島・長崎の各集会では構成組織・地域協議会の皆さんから寄せられた28,000羽の折り鶴を献納し、戦争のない平和な世界へ祈りを捧げた。

連合は平和運動として、世界の恒久平和の実現に向け、在日米軍基地の整理縮小、日米地位協定の抜本的見直し、核兵器廃絶と被爆者を対象に国家補償にもとづく被爆者支援の実現、北方領土返還要求運動を重点に領土問題などに取り組んでいる。

戦後71年を迎え、戦争体験者や被爆体験者は年々高齢化し、次世代への継承は急務となっている。人々に悲劇しかもたらさない戦争は二度と繰り返してはならず、連合長野は、戦争体験者の訴えや戦争の事実を次世代へと継承していく取り組みを継続して行っていく。



広島親子代表団の皆さん



平和広島集会にて折鶴の献納



長崎代表団の皆さん

恒久平和の実現に向けて 次世代につなぐ新たな一歩を

—参加した団員からのメッセージ—

沖縄 平和行動

○団員—小林 広希さん(農団労上伊那労組)

改めて戦争の悲惨さを実感しました。

ひめゆりの塔やガマ等戦火の跡を巡りましたが、今ある平和な世の中もこういった活動を続けてきた中であるものだと感じ、歴史を学び今を見つめ直す。この繰り返しがこの先の未来にも必要ではないかと感じました。次は私達の番です。次代へ語り継いで行きます。戦争絶対反対!!



糸数壕(アブチラガマ)の見学



広島・平和記念式典にて黙とう

○副団長—戸島 裕司さん
(連合長野高水地協議長代行)

「悲劇を繰り返してはいけない」

施設見学、ピースウォーク、集会、式典、あらゆる場面でこの切なる思いを感じた3日間でした。

この平和行動に参加してくれた子どもたちが、メモを取りながら話を聞く姿、目を覆いたくなるような資料を真剣な眼差しで見る姿がとても印象的でした。

私も戦争を知らない世代ですが、平和の大切さを次世代に伝えていくことが、私たちに課せられた責務だということを実感しました。

広島 平和行動

○子ども団員—戸島 和泉さん

私は、坪井直さんの体験証言が印象に残っています。

現在91歳の坪井さんから当時の状況や日本について、とても貴重な話をお聞きすることができました。坪井さんが最後に話された「未来は、自分のことだけを考えたら人類滅亡。人のことを考えること、そして若さを忘れず諦めるな」。

これは、これからの時代・社会でも大事なことなので、この言葉を忘れず、世界に平和を訴えていきたいです。

核兵器廃絶実現に向けて新たな一歩を。

長崎 平和行動

○団員—小松 等さん(JAM甲信イースタン労組)

今回の長崎は、核兵器廃絶の必要性を、改めて実感させられた平和行動となりました。

1日目の平和長崎集会では、我々が到底想像できない、被爆者の悲惨な実体験が語られた他、高校生平和大使の活動内容が報告されましたが、その中で、「私たちの力は微力です。でも、無力ではない」という言葉に心を打たれました。

確かに、一人ひとりの力は微力ですが、まとまれば大きな力になる。我々もこの活動を、核兵器が全世界から廃絶されるまで、継続して行かなければならないと感じた平和行動でした。



平和ナガサキ集會の様子

ZENROSAI NEWS

家族全員の不安、 こくみん共済で解消!!

一人一人に
みつける安心。

こくみん共済

個人型国民共済・こども定期生命共済・高齢定期生命共済・遺言共済
個人型養老共済・終身生命共済・個人型生命共済

わんぱくなお子さまには

キッズワイドタイプ 満1歳～14歳の健康な方 月々1,600円
キッズタイプ 満1歳～14歳の健康な方 月々900円

病って他人の名を冠してしまったり
最高100万円保障(がん500万円)
お子さまに多い腫瘍や骨髄などのとき
6.5万円保障(がん500万円)

教育資金に備える
おつなぐ貯蓄プランもありません。

大黒柱のお父さんには

総合2倍タイプ 満15歳～満64歳の健康な方 月々3,600円
医療安心タイプ 満15歳～満64歳の健康な方 月々2,300円

交通事故で死亡または
重度の障害が起きたとき
2,400万円を保障
先進医療を受けたとき
最高600万円保障

詳しくはお近くの全労済支所・ショップまでお問い合わせください。

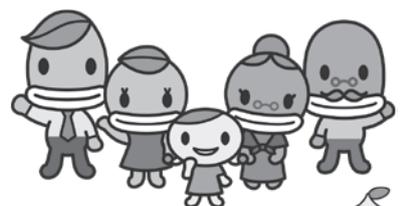
頑張るお母さんには

医療タイプ 満15歳～満64歳の健康な方 月々1,600円
がん保障プラス 満15歳～満64歳の健康な方 月々1,400円

子宮がんなどの
女性特有の病気の
手術には
1回につき
6万円を保障
がん(悪性新生物)と
全業種にわたって
診断されたとき
1回につき
100万円を保障

詳しくはお近くの全労済支所・ショップまでお問い合わせください。

全労済公式キャラクター「ピットくん」ファミリー



全労済は、専利を目的としない保障の
生活として共済事業を営み、組合員の
皆さまの安心とゆとりある暮らしを
支えています。お支払いをお返しに
たいては組合員になれば、各種共済を
ご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全労済共済生活協同組合連合会

全労済長野県本部
(長野県労働者共済生活協同組合)

2016連合長野平和パネル展開催

長野市もんぜんぷら座の他に、長野労金県下4支店でも開催

連合長野では2014年より、連合東海ブロック内5地方連合会(愛知・岐阜・三重・静岡・長野)の持ち回りによる『広島・長崎原爆パネル』(30枚)の展示を行っている。2016年は新たに長野県労働金庫の中野・小諸・大町・諏訪湖の4支店にご協力を頂き、6月30日～7月26日まで広島・長崎原爆パネルを展示した。

また、今年度新たに始まった東海ブロック統一企画展『沖縄戦と基地パネル』(50枚)は上小地協事務所にて展示した。

さらに、連合長野独自取り組みとして、広島平和記念資料館より『広島・長崎原爆パネル』と『市民が描いた原爆の絵パネル』(30枚)を借りて、長野市のもんぜんぷら座3F市民ギャラリーで8月4日～8月10日まで平和パネル展を開催した。

どの企画展にも、組合員・家族、地域の皆さんを中心に大勢の方にご参加いただいた。

戦後も71年となり太平洋戦争の体験者や広島・長崎のヒバクシャが少なくなる中で、戦争や原爆投下の事実を正しく次世代に語り継ぐ責務が私たちにはある。

来年も8月を中心に、東海ブロック持ち回りと連合長野独自の二本立てで平和パネル展を計画する予定である。戦争のない平和な社会を願い、連合長野はこれからも次世代へと継承する取り組みを行っていく。



労金中野支店での展示風景



もんぜんぷら座での展示風景

地域から
元気発信!!

各地域においても平和行動開催中!!

平和について学び、伝えよう



上小地協

7月22日(金)
連合「平和の語り部」上映会



上伊那地協

7月30日(土)
戦争と平和資料館「ピースアイチ」見学



諏訪地協

8月27日(土) 無言館・松代象山地下壕見学



飯田地協

8月27日(土) 満蒙開拓平和記念館見学



佐久地協

8月30日(火)
満蒙開拓の歴史を学ぶ映画上映会

ろうきんなら、コンビニATMでのご利用も可能!

| | | | | |
|------------------|-------------------------------------|---------------|---------------------|---------------------------------------|
| 金融機関等 (主な設置先) | セブン銀行 (主な設置先:セブンイレブン・イトーヨーカドーなど) | LAWSON ATM | net FamilyMart | イオン銀行 (主な設置先:イオン・マックスバリュ・ミニストップなど) |
| ATM サービス内容 | お預入れ | | お引出し | |
| ご利用可能時間 | 24時間 365日 | | 平日 8:00 23:00 | 土日祝 8:00 21:00 |

毎月第1・3月曜日の2:00～6:00、
ハッピーマンデー前日の21:00～
翌朝6:00は、定期メンテナンスを行
うため、全てのATMでろうきんカード
はご利用いただけません。
※19:00～7:00までのお引出しは
所定の手数料がかかりますが、
全額お戻しいたします。

www.nagano-rokin.co.jp

長野ろうきん 検索

一部設置していない店舗や営業時間などにより、ご利用いただけない場合があります。ATM設置場所および利用時間につきましては、各金融機関等のホームページをご覧ください。

<ろうきん>ATMサービスの詳細は店舗またはホームページでご確認ください。

はたらく人の想いと生きる
長野ろうきん

2016年4月1日現在

親子で作る、ちょっと難しい工作 「親子ものづくり教室」を開催

— 金属部門連絡会 —

苦心した距離センサーと電子基盤のハンダ付け 「歩くティラノサウルス」の製作と改造に取り組む

7月30日(土)、労働会館大会議室で金属部門連絡会「第10回親子ものづくり教室」を開催した。金属部門4産別組織から11組の27人の親子が参加した。16人の子どもたちが、初めてハンダごてを手にとって電子基板を組み立て、模型に取り付けて「距離センサー」の働きに歓声を上げた。



親子ものづくり教室は、子どもたちに働く家族の職場を見せ、職場と関わりのある工作に親子で取り組み、ものができあがる喜びを感じて「家族の労働」への理解を深める、という趣旨ではじまり、金属部門連絡会の全国的な取り組みになっている。毎年全県を4ブロックにわけて持ち回りにて行ってきたこの取り組みも10年目を迎える。今年は、小学校の夏休み最初の土曜日に開催し、単なる夏休みの工作教室とするのではなく、普段見たことのない電子基板と距離センサーを、モーター付きの「歩くティラノサウルス」模型に取り付けて、その仕組みを考えてもらうことにした。

午前から昼食を挟んで午後4時までの長時間の作業ということもあり、子どもたちの集中力が途切れることを心配した。また、ハンダごてを扱うことから、保護メガネとマスクも用意し、やけどやしぶきが飛ぶことに注意するよう子どもたちに呼びかけた。



万全の備えで、親の意見もよくきいて・・・

途中、ヒヤッとする場面があったものの、5時間の作業を無事終えて、みんなが出来上がったものを手にすることができた。

子ども達からは、「大変だったけど、動いた時はすごくうれしかった」などの感想が寄せられ、モノを作ることの喜びに加えて、道具を使う際のルールや整理整頓、安全第一について学ぶことができた。

連合長野は、引き続き、金属部門連絡会を中心として、長野県の基幹産業であるもの作りの大切さを次世代へ伝える取り組みを行っていく。

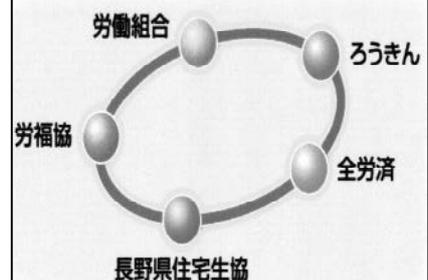


電子基盤を装備した「歩くティラノ」

住まいの相談なら住宅生協へ

労福協・労金・全労済などの福祉事業団体は、勤労者の暮らしに対する不安を解消するためにワンストップ・サービスの実現を進めています。
住宅生協も、その方針に基づき、**「住まいのワンストップ・サービス」**を確立し運動いたします。安心な住まいはまず相談から。

住宅生協は、労金・全労済と同じく非営利の福祉事業団体です。



長野県労働者住宅生活協同組合

本部 長野県知事(仮)2490号
026-234-0283
〒380-0838 長野市東町523 ろうきんビル7F jyusei@avis.ne.jp

松本事務所 〒390-0875 松本市城西1-1-33 恵比寿ビル2F
TEL.0263-36-1710 jyusei-m@pc.mcci.or.jp

ホームページもご覧ください
長野県住宅生協 | 検索
<http://www.jyusei.jp/>